



## 第 35 回鋼構造基礎講座

### 「鋼橋の維持管理—新技術を活用したインフラマネジメンター—」

行事コード：25802 / 略称：35 回鋼基礎講座

鋼構造委員会鋼構造継続教育推進小委員会では、土木学会継続教育（CPD）の一環として、鋼構造の設計実務、維持管理実務に携わる初級技術者から中級技術者を主な対象とし、第 35 回鋼構造基礎講座「鋼橋の維持管理」を下記の要領で開催します。

我が国では、インフラの高齢化が進む中で、2012 年に発生した笹子トンネル事故のような重大な事故リスクの顕在化や維持修繕費の急激な高まりが懸念されています。今後も厳しい財政状況が続く中で、適切に維持管理を行うためには効率的かつ効果的に維持管理を行う必要があります。AI やロボット等を活用した点検・モニタリング・診断技術、最新の補修技術等の最先端技術を取り入れたインフラマネジメントの実施が必要となります。本講座では、最先端技術の現状と今後の動向についてわかりやすく説明します。

鋼橋の維持管理をこれから勉強しようという方、勉強中の方、鋼橋の維持管理に関する課題を抱えておられる方など、どの立場の方々にとっても参考になることと思います。ふるってご参加ください。

1. 主催 土木学会（担当：鋼構造委員会 鋼構造継続教育推進小委員会）
2. 期日 2018 年 10 月 19 日（金）10:00～16:35（受付開始は 9:30 です）
3. 会場 土木学会 2 階 講堂（東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）
4. 定員 100 名
5. 参加費 正会員 7,000 円，非会員 8,000 円，学生 2,000 円（テキスト（CD 付）代を含む）
6. プログラム 司会 大宅 克幸（鋼構造継続教育推進小委員会）
  - 10:00—10:10 : 開会の挨拶  
勝地 弘（鋼構造継続教育推進小委員会 委員長）
  - 10:10—11:10 : ICT を活用したスマートインフラマネジメントシステムの社会実装  
土橋 浩（首都高速道路（株））
  - 11:10—12:10 : 剥離抑制型変性エポキシ樹脂塗料の開発  
西森 修次（（株）四国総合研究所）
  - 12:10—13:10 : 昼食休憩
  - 13:10—14:10 : インフラ点検へのロボット技術導入に向けた取り組み  
新田 恭士（国立研究開発法人土木研究所）
  - 14:10—15:10 : AI の概要と鋼構造物維持管理への適用  
中村 秀明（山口大学教授）
  - 15:10—15:25 : 休憩
  - 15:25—16:25 : モニタリング技術  
伊藤 裕一（東海旅客鉄道（株））
  - 16:25—16:35 : 閉会の挨拶  
長澤 光弥（鋼構造継続教育推進小委員会）

なお、当日の講演内容、時間、講演者、講演順序等につきましては、都合により変更の場合がありますのでご了承下さい。

## 7. 申込方法

学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内 (<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf>) の「本部参加申込書」に所定の事項（特に行事コード番号）を明記のうえ、研究事業課行事担当宛に FAX (03-3355-5278) でお申し込み下さい。申込書到着後、10 日前後で折返し「参加券」をお送りいたします。

土木学会個人会員の方は土木学会ホームページ

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) から申し込みが出来ます。

※申込みに関してのお願い

- (1)申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場で受付いたします。
- (2)お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の1週間前までに下記「申込問合先」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (3)申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

8. 申込期限 2018 年 10 月 5 日（金）

9. 問合先 (公社) 土木学会鋼構造委員会（事務局担当：尾崎）

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目外濠公園内

TEL 03-3355-3559

Mail [fumiharu-ozaki "at" jsce.or.jp](mailto:fumiharu-ozaki@jsce.or.jp) “at” を@にしてメールして下さい